

## 御宿小学校更新に係る住民説明会議事録

日時：令和5年8月20日（日）

午後1時30分から午後3時15分

場所：御宿町公民館大ホール

### 1. 開会

（事務局）定時になりましたので、始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、本日ご参加の皆様にご連絡を申し上げます。

本日の説明会ですが、午後3時までを予定しておりますので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

ただ今より、御宿小学校更新に係る住民説明会を開催いたします。

### 2. 町長あいさつ

（事務局）はじめに、石田御宿町長よりごあいさつ申し上げます。

（町長）本日皆様方には大変お暑い中、またお忙しい中を御宿小学校更新に係る住民の皆様方に対する説明会についてご出席いただきまして、誠にありがとうございます。日頃皆様方には町政全般に渡りまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに心から厚く御礼申し上げる次第でございます。

御宿小学校につきましては、建設が昭和42年ということで、現在まで55年が経過しております。これまで非常に老朽化が進みまして、さまざまな箇所と申しますか、部分について修繕や改善を重ねてまいりました。エアコンの設置、トイレの改修、さらにはいろいろな面で所々に、雨漏りが発生致しまして、そういった修繕、そして給食施設の改善と検討して来たこととところでございますが、どうしても建て替えが必要であると、コンクリート構造物耐用年限、当時に於いては60年ということでございますが、現時点においては耐用年数が変わってきておりまして47年となっておりますので、そういう状況でございますが、そういうことですね。現在55年ということで、今後これから令和8年度をもってですね。それまでにはいろいろ準備を整えてですね。建設を終えたいと考えているところでございます。

令和3年の9月の町議会におきまして、議員の皆様方からいっぱい質問いただきまして、今後の小学校更新に対して方針とか、整備についてどのように考えているのかというようなご質問いただいたときにはですね、私は令和4年度において、今後の方針整備等について方向性を定めたいとお答え申し上げます。すでに、令和5年度になっておりますので、かなり遅れ気味になっておりますが、耐用年数から言いますとそろそろ結論を出していかななくてはいけないと考えているところでございます。このことにつきまして、お手元の資料に概略ですが、お示しさせていただきましたが、昨年4月に、教育施設検討

委員会を設置いたしました。この検討委員会は12名の構成からなっておりまして、教育委員会における教育委員の皆様方、そして保護者を代表する皆様方、そして、各学校現職の校長先生、さらには町議会議員の皆様方、こういう方々がお入りいただきまして、12名の構成でございました。そしてこれまで6回の会議を経まして検討を進めてきたところでございます。

はじめに、町からこの建設候補地について4つの候補地についてご提示させていただきました。1つは、現在の御宿中学校が立地している場所。そして2つ目にB&G海洋センター周辺の土地について、3つ目に現在の御宿中学校が立地しているところ。そして、さらには、現在の布施小学校が立地しているところということで、4つの候補地を提示させていただきました。委員の皆様方にも現地を視察して頂いて検討を重ねてきたところでございます。そういう中で6回の会議を経まして、この4か所を2か所に絞っていただきました。それは現御宿中学校の立地する敷地と布施小学校が立地する敷地ということで2か所に絞っていただきまして、6回目の会議が今年、令和5年の1月に終わりまして、2月に検討委員会委員長様から2か所に絞りました、協議検討の上、執行部で決定してくださいというようなご答申をいただいたわけでございます。この建設候補地の選定についてですね、検討を進める段階で、当初からですね、4つの考え方といいますか、基本的な方針、考え方をお示しさせていただき、皆様方にお示しをさせていただきました。

その4つというのは、1つには、災害に対する考え方でございます。2011年3月11日に発生いたしました東日本大震災、津波災害でございましたが、海に面するわが町にとってやはり、しっかりと災害対応していかなくてはいけないということで、候補地としてはできるだけ標高の高いところが良いのではないかとこの考えをですね、選択肢に入れてもらいたい、それが第1点でございます。子どもたちの命の安全の確保ということも第1点といたしまして、そのように申し上げさせていただきました。2つ目はですね。やはり勉学にふさわしい、静かな環境であることということでございます。それで3つ目は、これから人口減少が進み、児童生徒がやはりだんだんと少なくなって減少が進んできておりますが、これから小中連携教育、一貫教育をどうしても教育の重要性の大きな課題として取り上げなくてはならないと、この小中連携一貫教育を実現するためにですね、環境づくりが必要だということをお慮していただきたいということです。そして4つ目が財政事情の課題であります。非常に財政も厳しい中にありますが、現時点においてですね、町債残高が33億5000万でございます。およそ1年間の町予算がですね、その年でいくらか違いますが、35億から38億ぐらいの間の推移しておりますが、現在、33億5000万の借金と申しますか、町債残高がありますから、その辺もいろいろな事業を行う上で検討して考慮に入れていかなきゃいけないということをお願いいたしまして、この4つの点について念頭におきまして、候補地の選定をお願いしたいということをお申し上げてきたわけでございます。

令和4年4月から現在、令和5年8月までおよそ1年4か月が経過しておりますが、今申し上げました教育施設検討委員会の皆様のご検討と、さらには昨年11月だったと思っておりますが、保護者の皆様方に3回に渡ってご説明をさせていただきまして、12月にアンケート

ト調査を行ってまいりました。行政区の区長会議が2か月に1回行われますが、区長様方の会議においても取り上げていただきまして、さまざまなご意見、ご指導いただき、現在に至っております。お手元の資料にですね、布施小学校と御宿中学校の概算工事費をご提示させていただいておりますが、現段階における概要でございます。詳細につきましてはですね、またいろいろご質問いただいた中でご説明させていただきますが、そのようなことで現在に至っております。この4つの方針を総合的に勘案いたしまして、現段階において私として、町執行部といたしまして、内容においては、御宿中学校に移設といいますか、校舎施設を作ることが良いことではないかという方針を固めつつあります。そういう中で今日はですね、皆様方に様々なご意見をいただきまして、取り入れるべき事、取り入れることが可能であることはすべて取り入れまして、検討を進めてもらいたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げたいと思っております、概略を説明させていただきましたが、これからですね。ご意見をいただきまして、できましたら質疑応答の形でですね。皆様方に様々なご意見、お考えをお伺いさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

日頃のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

また、本日のご出席に心から御礼申し上げます。簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます。

(事務局) それでは、本日出席の職員の紹介をさせていただきます。

石田御宿町長です。

前森教育長です。

殿岡総務課長です。

渡邊企画財政課長です。

永石建設水道課長です。

吉野教育課長です。

また、本日司会進行を務めさせていただきます。御宿町教育委員会平松です。どうぞよろしくお願いをいたします。

### **3. 説明**

(事務局) それでは、早速説明に入らせていただきます。

それでは早速説明に入らせていただきます。御宿小学校校舎更新に係るこれまでの経緯及び今後の方針につきましてご説明させていただきたいと思っておりますが、先ほど町長のあいさつの中で町長よりご説明させていただきましたので、お集まりの皆様からの質疑応答という形で進めさせていただければと思います。

皆様ご質問等ございましたら、挙手にてお願いをいたします。係がマイクをお持ちいたしますので、マイクをご使用の上、お話いただきますようお願い申し上げます。

いかがでしょうか。

(参加者) 私は船橋市役所で船橋小学校というのを全面改修して作った経緯が10年前にあります。退職してはいますが、そんな中ですね、教室数の問題とかどうなってるのかなとかですね。将来的な、人数がどうなった時の教室を考えているのかが、この中で資料がないのです。説明もないので分からないのですが、中学校に併設するということですよ。市川市で20年ぐらい前にやったことがあるので、これは僕も見ることがあって、これはいい考えだと思います。また、あまりここに近いと津波とかの心配もありますので、もう少し高い方がいいのかなという考え方も分かります。運動場というのは、それぞれが使える運動場を設けるのでしょうか。そういうのが気になります。小学校は小学校、中学校は中学校とかあるのではないかなと思うのです。私が作った船橋小学校というのは、最終的に中央保育園というのを一緒にくっつけられてしまったので、中央保育園の運動場もそこを使う感じになったのですが、運営に問題が起こるのではないかなと思って、10年経って問題が起こってないかなと思ったのですが、小学校の運動施設の校庭のラインとかですね、中学校の校庭の、例えば100m走が必要なのかと50mでいいのかとあると思うのですが、今後考えていただいて、取り入れて欲しいと思います。

実際にですね、御宿小学校がここにあったものですね。この歴史ある小学校ですね、廃止していいのかなとか、そういう意見はなかったのですか。私の船橋小学校というのは一番船橋で古い小学校で、64校あるうちの1校ですけども、一番古かったので、近隣の方や議員の方に怒られ、そこじゃなくて、隣に空き教室がいっぱいある学校があるから、そこで併設したらどうかという話をしたのですが、全然通じなかったということと、うちの方の建設局長がやたら吊し上げられた経緯があります。そんなことはここでは無いのですよ。唐突ですけども、位置的には僕は賛成なのですが、運営の中で問題が起こらないように建設していただければと思います。私の意見はここまでです。

(町長) ありがとうございます。着座のままいろいろと申し上げさせていただきたいと思いますが、いくつかご質問、あるいはご要望のようなご意見をいただきましたけど、まず、学校グラウンド敷地についてでございますが、現在、御宿中学校の敷地は3万2千㎡でございます。そして、御宿小学校が2万3千㎡あります。布施小学校は1万7千㎡でございますが、この中で、現時点においては、例えば御宿中学校の野球のグラウンドとか、直線のコースですよ。トラックそれはそのまま、活用できるのではないかと考えております。それだけ広いですから、うまく体育の時間等併用して活用できるのではないかなと思います。その辺は時間単位の工夫で検討課題になりますけど、面積的には十分に活用できるのではないかなと思います。そして小学校が併用になるということで遊具の問題がございます。遊具施設をどのように配置するのか小学生について遊具と親しむということは非常に大事なことでありますから、この辺も大きく念頭に入れて改善していきたいと考えております。そしてもう1点ですね、現在の御宿小学校は、新町区の町の真ん中といいますか、中心地でございますが、素晴らしい立地にあるわけでございますが、なんといってもこれまでの経過で私自身感じることは子どもの命の安全を守ることが先頭に立っております。いろいろなご意見がございます。どうしてあれをあそこに移動するのだと。もう一点はですね御宿町の大きな教育財

産であります五倫鬘というのがあります。五倫文庫の関係ですけど、五倫発祥の地、明治時代に伊藤鬼一先生が五倫鬘と致しましたが、この五倫鬘の問題をどのように解決するのかという課題が一つありますけど、この辺も皆様方のご意見を今後伺いながらしっかりと対応していかなくちゃいけないと、先般もご親族の方とですね、いろいろ協議を致しましたが、これからの課題としてありますけど、そのように考えております。以上です。

(参加者) 遊具のことなのですが、中学生の遊具と小学生の遊具っていうのは。中学生の遊具レベルと小学生の遊具レベルが違うと思うのですが、でも、実際に小学校と保育園を一緒に併設したので、その中で保育園の遊具のレベルと小学校における遊具のレベルっていうのが違うのですね。それを使わせるとろくなことにならないことです。どういう区分けをするかという問題がちょっとそこで1回生じたことがあるので、小中学校にはさほどないかと思うのですが一応意見を言います。船橋小学校からすれば、全然面積が広いので、船橋においてもですね、船橋小学校は普通の小学校の半分しか敷地がなくて、5階建ての建物をですね作らざるを得なかったです。これは県の教育の関係でもですね5階建ての建物作ってはいけないことになってるのですが、それをなんとか県に言って作らせてもらったのです。5階には、音楽教室とか、特別教室でエレベーターを設けるようにして、それで5階の片方にはプールを作って、プールの下には体育館が入っています。一つの建物に集約して作らせてもらって運動場を作ったのですが、まっすぐの100mができなくて、100mを教育長が作れと言ったのですが、とてもじゃないけどできないので、運動場斜めに横断して真っすぐだったらできますって言ったら、それでもいいよって言われたので、やっとそれで納得してもらったような経緯があります。そういうのを思い出させていただきました。すみません。

(町長) ありがとうございます。

(参加者) すみません、御宿小学校卒業生ですけども、登下校の事で質問よろしいでしょうか。まだ敷地の話だと思うのですが、御宿中にしても布施小にしても、今の御宿中から変わるとは思いますけど、通学路の範囲はより広くなると思うのですが、小学生は徒歩で登校はあると思いますが、もし遠い距離の子が登下校する場合の交通手段は何か考えていますか。考えてることがありましたら教えてください。お願いいたします。

(町長) ありがとうございます。登下校に関してはいろいろな各会議、説明会なり、保護者会など皆さん、いろいろな会議で一番ご心配されている状況もございました。そういう中でですね、中学校に更新施設を持っていた場合ですね。当然、全区域についての対応になりますので、基本的に中学生は歩きとか自転車対応になりますけど、小学生がですね、現時点で考えておりますのは、10行政区のうち、御宿台、布施、実谷、高山田がスクールバスの対象になると思います。その状況において少し変化が出てくると思いますが、それで中型スクールバスが年間2台必要です。そして現在ですね、中学校の正門について、両脇の正門の入り

口が7.5mです、で脇の参道が9.5mあります。参道をですね、3.5mお譲りいただいて、正面の入り口を概算ですけど、入口と出口をしっかりと交差できるように、現在は7.5mだったらできませんから、これをしっかりとやって、スクールバスの回転するゾーンを作ってください。そうすると、小学校の子供たちもですね、何分の一か今言った行政の方々は、スクールバスになりますから、個人でのお車での出迎えとか、一般的には何割か少なくなりますので、整備していきたいと思います。それと、駐車場関係はですね、現在想定しておりますのは、正門を入れて左側の現在、教員の皆様方の駐車場になっておりますけど、3階建てで教室の部分と校長室、保健室とあと1つ2ついくつかありますけど、そのぐらいの面積で3階建てで考えておりますけど、そして、特別教室等についてはですね、具体的にこれから詰めるわけでありまして、余裕がありまして、そういう意味では特別教室としての活用が現中学校教室を共有するという形でかなりの部分でできますので、考えております。そういうことで、現在の先生方の教員の駐車場がつぶれるような形になりますので、入って右側の奥に駐車場を作りまして、一般的な授業参観とですね、研修会とかいろいろありますけど、20台30台が必要になりますから、当然敷地内に作ります。それと、大型イベント運動会を中心にいくつかあると思いますけど、その辺は全部は敷地内に入りませんので線路渡ったですね、テニスコートなどあった町営グラウンドの脇をしっかりと整備をして行きたいなど、イベントの時は少し歩いてはいただきますけど、現時点ではそのようなことを考えております。以上です。

(参加者) 私はアンケートにも応えていないし、今までこの経緯をよくわからないのですが、この建設費用の概算の内訳を簡単に教えていただいてもいいでしょうか。

(教育課長) 御宿中学校については、今、町長からもお話があった通り、国道から入って左側の駐車場の敷地に3階建てを建てる予定でおります。それを今の校舎とつなげるような形で、御宿小学校部分と御宿中学校部分がちょうど重なるような形で特別教室を使うようになる予定です。その他、周辺施設についてはですね、先程ありました、入り口の改造とかですね、遊具の新設をしなければいけませんので、遊具の整備その他ロータリー駐車場の整備がその他周辺施設ということでございます。現在の金額では11億3000万程度の金額となっております。

布施小学校については、今使っている校舎は昭和48年に建築になっておりますので、もうすぐ、60年が経過するということもございまして、こちらに建てる場合には、全部を取り壊して体育館とプールをそのまま使用するという形ですね、小学校全体を一棟建てなくてはいけませんので、9億9200万と解体費用が1億1000万で、その他周辺施設ということで、こちらについてもグラウンド整備がですね、敷地的には今のグラウンドだと狭くなりますので、それを新たにグラウンド整備をする金額及び遊具、ロータリー駐車場を整備する金額として、その周辺地域として1億3900万ということで、全体で17億3000万ということで、現在のところ概算費用としてはじいたものでございます。以上です。

(参加者) 3階建てのものを建てるのに、長い話になって申し訳ないのですが、私 15 年前に移住してきて、すごい中学校の校舎がすごく素晴らしくて、今 110 人生徒数があるのかな。中学校で多分空いてる教室もたくさんあるだろうから、小中一貫の特殊な教育をしたら、御宿町がすごくいい感じで都会からも注目されるのではないのでしょうかという話を、15 年前ぐらいにしたと思うのですが、その時は多分、石田さんもちょっとピンと来なかったと思います。で、今はそういう学校も増えているので、良い試みだと思いますし、御宿小学校の将来を担う子どもたちのために、けち臭いことは言いたくないのですが、例えば中学校の教室数が何部屋あってどの位、後 118 名ぐらい増える予定ですよ。小学校の生徒が。特殊教室に置いて、私は小中一貫でいろいろなことを研究していたりすることは凄い素晴らしい教育方針だと思うんですが、これだけの凄い金額をかけてまでしなきゃいけないというのは、ものすごく精査なされたのかなっていうのをちょっと危惧するんですが。別にいいんですよ、全然建ててもいいんですけども、そういうところを、例えば中学の教室で空いてる所を、半分ずつで合同で勉強することによって得ることもあると思うのですが、そういった将来的に小中で特殊な教育をしていこうという町の試み、グローバルの試みはあるのかなってそのところがちょっと気になるのですけれども。素晴らしいことだと思うんですね。老人の方を交えたり、幼稚園の子を交えたり、みんなでこう、教育を練っていきながら、町づくりをする石田町長の笑顔のふくらむ、町づくりっていうのにもいいことだと思うんですけども、このバーンとこの金額を出すのがもう最終決定なんですかね。というのがちょっと気になって。

(教育課長) 金額についてはですね、この時点で最大にかかった金額ということで、弾いているので実際に設計をしたわけでもないですし、使える教室はこれとこれとこれだろうというところは一旦取っているんですけども、3階建ての中にどうしても特別支援の学級の部屋とかですね。そういうものを取っていくと、やはり足りない分っていう部分が出てきますので教室としては一番少ない数として取った中で、これが弾かれているのですけども、必要な教室ということは準備していると。今ですね、学童っていうものも一緒に敷地というものを考えておりますので、この建物の中のどこかにですね。一緒に学童をできる部屋も併設しようとしているので中学校と小学校と学童を一緒に場所にして、考えているところでございます。

(町長) 少し補足をいたしますが、先ほど私のほうで3階建てと申しあげましたけど小学校に関しまして、これから子供の状況見ますと、1学年で2クラスっていうのはあまり想定できないですね。ですから6学年で6教室は必要だと思います。それと今言いました、特別支援学級とか、現在御宿小学校でもそういう教室を持っておりますけど、そして、校長室、応接室、保健室とか、これもやはり子供たちの小学校の対応っていうことが必要じゃないかと考えております。倉庫の1つ2つ、そして先ほど申しあげましたけど、少しずつ中学校の施設が共有して活用できるようになりますから、これからのことにつきましては、これからの段階で精査していきたいと思っております。

(参加者) 今こども園に行っている子供と2歳の子供を育てています。今日同じ世代のお父さん、お母さんたちがあまり来ていないのがちょっと残念だったなと感じました。私の質問なのですが、たくさんあるのですけども、今までに検討委員会で6回会議をされてきたっていうお話を今石田町長からお伺いしたのですけども、PTAの会長とか校長先生とか、今、現役で携わっている方達の会議での意見をお伺いしたいのですけども、賛成ばかりではないと思うのです。御宿中学校に併設するっていうのに。その意見も私たち親としては聞きたいなと思って。お伺いできますか。

(町長) ありがとうございます。例えばですね。教育施設検討委員会の中で6回の会議を経てきて、先ほど申し上げましたけど、始めは4つの方針についてご提示させていただいて、布施小学校と2つに絞られた中で、布施小学校の方がいいんじゃないかっていうようなご意見がございました。そういう中で、いろいろ意見交換といいますか、ご意見を伺ってきたわけですが、概算でございますが、今、ご提示させていただいている費用はこれだけ何割か布施小学校の方が多くかかります。同時に、先ほどスクールバスのことを申し上げましたけど、布施小学校に持っていた場合は、ほぼ9割を上回る児童をスクールバスで対応しなくちゃいけないのではないかなと考えておりますけど、その場合はスクールバス4台必要と考えております。小中一貫、連携教育をやっているところも2か所ほど視察を致しましたけど、スクールバスが1年で1台ですね。中型でございますけど、1000万かかります。1年4台4000万です、御宿中学校に持っていた場合は2台で2000万ですけど、そういう状況もございますけど、建設費の関係もございます。さらには、いろいろのご意見、総合的に伺った中で、やはり、小中学校の子どもたちが住民の皆様と毎日あいさつするとか、元気な笑顔、町民の皆様との関係も非常に必要じゃないかというようなご意見もございました。そういう中で、スクールバスの場合は申し上げるまでもなく、乗ったところから学校までバスで行きますから、なかなか町民の皆様さんとの接触とか、あるいはごあいさつとかなかなかできない。教育ということに関する町民の皆様のご取り組み方、考え方、子供たちが父親、母親、地域住民の皆様さんとの連絡連携関係といいますか、そういうことも非常に大切じゃないかということが、私としては全体的なご意見として伺いまして、そういう中で今、先ほど申し上げました。4つの方針に基づいて総合的に勘案して、このような道を辿ってきたと考えております。以上です。

(参加者) 布施に住んでいます3人子供がいて、3人ともこども園にいます。よろしくお願ひします。さっきバスのお話があったのですけれども、子供たちだけの問題ではないような気がしていて、例えば、今のお話をちょっと聞いても、子供の数が少なくなっているとか、そういうのを伺っていて、中学校と小学校の数でもだいぶ差が出てきていると思うんですけども、布施小もいない学年がいたりとかあると思うんですけど、そういうことについて、例えばここでこれだけのお金をかけて、新しく中学校を建てまして素晴らしい教育を一貫校として連携校としましたって言ったところで、やっぱり人数が増えなかったら意味がないと



思うんですね。人数が増えた時のことも想定されているのかなとか、1クラスあればいいかなって言うのだと、それ以上増えないというか、頭を決めているように感じる、ここまでっていう限界を決めているような感じがして、私としてはもっと昔はたくさん子どもたちがいたんだから、気持ちとしてはそこを目指していただきたいなっていうのと、これが小学校建設だけではなくて、移住定住とかそういう話にも繋がるような感じでお話されてるのかなっていう疑問と、あとバスの話もですが、御宿台とかにいて、お年を重ねてらっしゃる方が免許返納されて、ちょっと足がないので、御宿町が出て行きますという方がいらっしゃるっていう話も聞いて、そういう方たちのためにバスとかは出ないのかなっていうので、中学校とか小学校とかどこに建てても良いし、どこに建ててもメリットデメリットあると思うんですけど、そういう子どもたちだけが使うようなバスじゃなくて、町民の皆様が使うようなバスにしたりしてどうにかまかなえないものなのかなとか思うんですけども、そういう教育だけとか移設だけとか、そういうのではなくて、他の問題も絡めて考えていらっしゃるのかなという疑問があります。

(町長) ありがとうございます。初めですね、子供の数といえますか、例えば、現在の就学前児童が、令和5年に何名お生まれになったかっていうのが分かります。令和5年はまだこれからです。それから小学校1年に上がるまでの就学前児童の現在の数ですね、これから、現在の0歳の子どもたちが小学校1年に上がった時、また中学1年に上がった時、それはこれからのことで見通しがつくわけなんですね。そういう中で傾向としては徐々に減ります。移住定住の問題とおっしゃっていただきましたけど、日本全国の人口が減少しています。児童生徒が減少しています。だから大きな器は減少傾向にあるんですね。その中で、例えば、ある他の町から御宿町にみえるということは、大きな異動、小さな異動はあると思いますけど、これから現在の5年、10年先はだいたい見えるんですけど、これからも想定した時に、現在の子どもたちの2倍3倍になるだろうということはなかなか想定できない。ちょっと考えが飛躍しすぎるというか、この選択肢はなかなか無理だと思います。

例えばですね、大きな工場がありまして、そこに100人200人の子供たちが増えるそういうことがありましたら、可能になってくるんじゃないかと思いますが、一般的にはなかなかそういったちょっと議論が飛躍しすぎるといって、なかなか、そういう方針は立てにくいと考えております。高齢化社会が進んでですね、町民の皆様方の交通の便っていうことをおっしゃっていただきましたけど、今エビアミーゴという小型バスが交通公共交通機関として出ておりますけど、改善についてはいろいろご意見をいただいておりますが、検討については、今後可能な限り対応していきたいなと思っております以上です。

(参加者) 児童数が2倍3倍になるっていうのは、ちょっと非現実的だっていうのは今お伺いしたんですけど、確かに日本全体減ってるのでそれはあると思うんですけど、別の地域では出生率がすごい上がってるとか、移住定住で成功してるとか、そういうケースは全然あると思うんですね。ここがすごいチャンスだと思って、何かその別の問題も絡めて、お話しされたり、検討されたりしてるのかなっていう疑問なんですけど、例えば移住定住とか交通

の便インフラだとか、そういうのは全く別で小学校の問題だけを考えていらっしゃるのか、それとも、別のことも絡めて考えてらっしゃるのかなっていう疑問があります。

(町長) はい、ありがとうございました。

関西にですね、奈義町というところがありまして、出生率が非常に高くなっています。全国から非常に注目が集まっておりますけど、今いろいろ勉強させていただいておりますけどね、そういう意味で政策的に移住定住に取り組むというのは当然、今後やっていかなきゃいけないと思いますが、どのぐらいできるのかっていうのはありますけどね、そういうことであまり夢のない話かわかりませんが、私としてはかなりの減少が進んでおりますので、例えばこれをまずは横ばいにするのが容易じゃないというか、非常に重要なことになりますので、現段階では2倍3倍するのはちょっと無理じゃないかなと思っておりますけど、いずれにしても人口が減るよりも増える方が当然町の活力につながりますから、研究はしていかなきゃいけないと思いますので、その辺はですね、勉強させていただいて、しっかりとやっていきたいと思っております。

(参加者) では、現時点ではあまりそういうことを絡めて考えてないっていうような会見でよろしいですか。

(町長) 現実的に短期間で子供何倍に増やすっていう非常に難しいというか、私はちょっと無理じゃないかなと思っておりますが。

(参加者) 皆さんいろいろお話出てるので、これも何年も前からいろいろお話されてる内容だと思うのですが、今後のより具体的な部分ってどのようになっているのかというのはいつ頃わかるのかとか、きちんと早目にお知らせいただくとありがたいなと思います。今後の計画です。期間が短いと思っておりますので、その辺をはっきりしていただくと嬉しいです。

(町長) ありがとうございます。今後の予定といたしますか、行程につきましては冒頭に申し上げましたが、令和9年3月には学校施設を完成させたいと考えています。一般的には約2か年工事期間をみまして、その前に設計がございますので、例えば今、令和5年ですので、今年中に方針を決定して設計費用を令和6年度予算に計上いたしまして設計を進めて7年度8年度と工事期間に移るといったようなことでございますので、この進捗についてですね、状況が決定して進み次第、町広報とホームページで皆様方にお知らせをさせていただきたいなと思います。

(参加者) 検討委員の中にも入らせていただきました。議員の北村と申します。先ほど前のお母さんからですね、校長先生とかのご意見どうだったかというご質問がありましたので、補足をさせていただきますと、御宿中でない、他という意見もなかったのかというご質問が

ありましたので、補足をさせていただきますと、小学校の校長先生のお一人はですね、やはり狭いと小学生はのびのびと遊ばせてあげたいと、そういう意味ではどう考えても狭いということをおっしゃっていらっしゃったのがとても印象的です。私もですね、当然、双方の案にメリットデメリットあるなと思うのですが、やっぱり狭いなど。そもそも中学校のための用地として、中学校が現に作られているところに、後付けで小学校を入れるわけですから、それはいろいろな工夫をしても、贅沢を言うなど言われたしまうかもしれないですが、どうしても手狭になってしまうことは間違いないのかなというふうには思っております。そういった意味でもですね。今後ろの方からも具体的にと言うお話ありましたが、12月でしたっけ、前回保護者向けに3回に渡って説明会をやっていたいただいた時にもですね、やっぱり具体的にもう少し、最終系のしっかりした設計を今すぐ出せという話ではないんですが、青写真のようなイメージ図みたいなものが出てこない、いくら口でですね、工夫すればなんとかなると思いますとか十分だと思いますというふうに町長はおっしゃるんですが、どうもやっぱりイメージがわからない。私が一番心配しているのは、いざ設計も固まって、もっと言ったら完成してみても初めて目の当たりにして、こんなに狭いのと、あるいは先ほどあちらの方から遊具のお話もありました、小学校の校長先生も一番そこを心配されましたけれども、こんな場所に無理やり遊具は作ったけど、本当にこれで安全に遊べるのみみたいなことも起こってしまうのではないのかって心配があるんですね。心配には及ばなかったなあっていうことを見せて安心させて頂く為にもやっぱりイメージ図みたいなものをもっと早めに提示してほしかったなど、あれから6か月、7か月、8か月经っているんですが、具体的なものが情報が何も出てこないで、また、配布資料も何もない形で、この説明会ですか、本当は討論の場としてやっていただくお約束でしたが、説明の場、質問は受け付けますみたいな形ですけども、非常に、もっとやれることがこの8か月の間にあったのではないかなというふうに思います。

それから、移住定住を増やすとか、あるいは、町内の交通の問題とか複合的に考えたらいいのではないかというご意見もありました。そして子供の数をこれからどのように考えるのかということに関しても、私もずっとそれを申し上げてきたつもりです。町長は無理だと非現実的だとはっきりおっしゃられますけれども、そうでない実例が、次々と出ているにもかかわらず、その考えを放棄してしまう。実感として、多分、今現役の小さなお子さんを持たれてるお母さんたちは、去年、子供が何人生まれたか。本当に数えるほどしかこの町には子供が産まれなくて、それを世の中の流れだからしょうがない、これは誰にも逆らえないんだってって指をくわえているのか、それともそうではないはずだと思って努力工夫を重ねて実績を上げている町が他にもあるにもかかわらず、それを何もせずにか何かいろいろやったけれどもうまくいかなかったっていうなら分かるのですが、何もしないうちに、どうせ無理だからやっても無駄だからということで、何もしないというのは、やっぱり我々現役の子育て世代としては、やっぱりそういう言葉を町長の口から聞きたくないなというふうに思っております。私も12月の議会でもですね、この小学校の移転計画を契機に、子どもたち子育て世代の移住者移入者を増やすという考えはないのかということ町長と教育長2人に伺いましたが、お2人ともそういう考えは私たちの頭にはないとはっきり否定されてしまったの

で、非常に残念で、これは、この前にいらっしゃる2人も本当に悔しい思いをされたなと思うのですが、まだ時間はありますので、もう一回ですね、これは他の職員の方たちともよく話をさせていただいてですね、可能性は十分にあるというより、それをやらないと今この町で育てている子どもたちはずっと寂しい思いをしながら、友達が少ない、お母さんたちも子育て仲間が少ない、高齢者の皆さんには申し訳ないのですが、高齢者の方ばかりがたくさんいて、子供たち子育て世代は肩身の狭い思いをしながら、ずっと暮らさなきゃいけない、そんな町でずっといいのかというふうなことを、もう一回ですね、町長、考えていただきたいなと思います。すみません、短くするつもりが結局自分の考えでしゃべってしまいました。一言町長お願いします。

(町長) はい、ありがとうございました。これまで教育施設検討委員会、またさまざまの説明会でいろいろなご意見いただいた中で、ご賛成いただくような内容、あるいはもう少し考えた方がいいのではないのかというふうないろいろご意見もございましたが、私としましては、先ほど4つの方針の中で総合的に勘案して、このような道で方向性で行きたいという申し上げておりますが、そういう中で、例えば一つ一つのことについて、メリットデメリットがありますが、デメリットについてはできるだけメリットになるように、あるいは近づくようにあの研究工夫をして行くということでもあります。ですから、この前、皆様方がこの公民館のホールで、映写会をやっていただきまして、私も見せていただきましたけど、非常に良い映写会でした。体験学習を現在の教育状況と比べてより多く取り入れていくということは、これは研究検討していく中で可能であると思っております。あの映写会の中にもありましたけど、文科省の指導要領が示しているところと、独立的というか、特異的な発想の中で、その辺の整合性をつかむことが非常に難しいというような表現もございましたけど、例えばそういうことを廃止するか排除するかっていうことではないです。一つの総合的に関連した中で物事を進めていく中で、皆様方からいろいろなご意見をいただいていることを、可能な限り取り入れるべき事は、取り入れていくと、そして皆さん方の意見を反映していると、私はそのように考えておりますのでね。ご理解いただきたいなと思いますけどね。可能性とか、新たなこととか諦めたり排除したりしておりませんので、ただ全体的な総合的に勘案してこのように進みたいという私は皆様方の前で申し上げさせていただいているわけでございます。以上です。

(参加者) 今の前の方の意見で、女性の方の意見を聞いていましたら、若い人、現実に子供さんが登校していて、日頃感じている意見が通っていないような感じがするんですね。今、おっしゃったように、建設委員会を立ち上げて参加された時に、どうして現場の人を多く招集して意見交換しなかったのか。もしもそれもされていたのかということも報告していただきたいです。みなさんにね。ちょっと余分なこと言うたらいかんのですが、年いった方が意見を出しても長老の意見だからって、そういうのを取り入れても現実から逃避してるわけですよ。だから現場の方の話をやっぱり取り入れながら検討して行く同じお金をかけるにしても、それと知らないことなののですが、政府が決めたその耐用年数47年間で決めた年数が過

ぎたから建替えないとだめということであれば、この費用は国は負担してくれないのですか。ここの町政の予算でやらないとだめなのですか。

話がちょっとそれますが、私らの時代、1クラス64名でした。64名で教室は今よりも倍広いかっていったら、教室の大きさは規格が決まってるんでしょう。

今、現在と同じところで64名が、肩を寄せ合って勉強してきたんですよ。そういう時代遅れなことを言ったらダメなんでしょうけど、現実は今現在、子供さんが減ってきてるとは言いながら、私御宿に来て13年になるんです。12年ぐらい、登校時に歩道のところに指導員がいないからということで、当時の校長先生に直談判じゃないけど、アポとって指導員したいんですけどって、見守りをしたいって言ったら、もうぜひお願いしますということで、月曜から金曜までお休みの時は別として、12年間雨が降ればカッパ着て、朝から子供さんの登校見守りボランティアやっています。感じるのが、私のところは、須賀、浜、御宿台の方なんですけど、今現在御宿台から6つのグループが登校してるのですが、少子化になってから、各ブロックは統合されたブロックもあるんですけど、人数が少ないからね、駅の近くのところから1人須賀のグループに合流して登校する、そういう状態なんですけど、御宿台が7割近くなんです。先ほどバスの送迎っておっしゃいましたけど、毎年ね、今年の1年生、何人ぐらいいるかなと私も楽しみにしてやってるんですけど、結構、こっちの地域1年生多いんです。その中で御宿台からくる1年生の男の子1人が、登校して、青葉クリニックの前まで来た時に、6年生の女性の生徒さんが手をつないで連れてくるんですけど、あそこまで来るだけヘトヘトなんです。だから同じ1年生といっても元気な子供さんと虚弱体質の子供さんがいるわけです。御宿台の範囲は広いと思いますけれど、やっぱりくる時間はそんなに変わらないね。だから送迎バスを今現在どういう形で登下校の送迎バスが運用されてるのか、されてないのかというのを現実、校舎が建つのが9年とおっしゃられた6年間、これから先、御宿台の人、それ以外少し遠いところから来る人がいるから、その人らのことを子供さんのことを考えているかどうかということね。で、確かにね、さっき女性が言った、もっと現実に子供さんのいる父兄が来てるかと思ったけれど、結構年寄りばかりがきてるわけです。どうしてかって諦めムードが強いのではないのでしょうか。言っても無理だと、私らの意見を聞いてもらえないという、これは想像なんですけれど、だから良いついていっても無理だから来てもしかたがない、こんな暑い時にということじゃないかと私は感じました。

そこらのところも考えて、予算のこともあるでしょう。でも毎年、人口は確かに減ってます。私が来た時に住民登録したとき、第一に聞いたのが、ここの町の人口何名。って聞いたんですよ。そしたら8,000ですって、それからずっと12年、13年近くなってきた、1000人ちょっと減ってるんですね、町の広報を見てましたら、1ヵ月か2ヵ月前の結果が公表されてますけれど、出生0死亡13出生2死亡10名というような状態で、確かに人口が減ってるんです。でもやっぱり若い人がね、住んでこちらに来て、子育てできるようにということを私、前にも意見で言ったことあるんです。企業誘致しないことには、若い人の働き場所がないんですよ。だから若い人に来ていただきたくても無理なことがあるってということなんですけど、現状維持をどう打開していくか、町民の皆さんに子育て中のお母さん、お父さんに、どうしたら理解していただけるかっていうことを打ち出していきたいです。安心して子

供が登校できるようにしてあげてください。送迎バスが、私の認識不足で知らないんですけど、今現在の送迎バスどうされてるか。この暑い時に1年生がまた坂上がって御宿台上がっていくんですね。そういうことも考えながら、ご返答いただきたいと思います。

(教育課長) スクールバスの現在の状況だけ先にお話ししますね。御宿小学校にはスクールバスが出ておりません。その中で、皆さん、御宿小学校は町の中心にありますので、平均3キロ以内の所からの通学っていうような形になってます。御宿台についても今3キロの内側で入ってるんですけども、それが御宿中学校に行くことによって3.5キロとか4キロっていうような形になりますから、先ほどお話ししたスクールバスっていうようなお話になってくるというところなんですけども、現在は皆さん徒歩で登校していただいているところです。帰りにつきましては低学年の子供さんたちは、こども園のバスに乗って帰るような形をとっております。なので、来るときは歩いてきますけれども、帰りはバスに乗せて御宿台の集会所のあたりまで行って降ろして、そこからご自宅まで歩くような形が現在の運営方式ということになっておりますので、よろしく願いいたします。

(町長) はい、現在の状況はお伝え申し上げました。今おっしゃっていただきました。中には、体質の弱いお子さんもいらっしゃるということについては、今後、色んな事情といえますか、状況を伺いましてですね、何らかの形で考えさせていただきたいなと思います。今日このように皆様方お集まりいただいておりますが、先ほど申し上げましたけど、同じような内容のお話を昨年の11月にこども園と小学校中学校保護者の皆さんを対象にですね、3回説明会をさせていただきましたので、その時にかなりの方々にご出席いただきまして、ご説明をさせていただきました。今日もですね、大勢もう少しお見えいただけるのかなと思っておりますけど、このような状況でございますけど、いずれにいたしましても、今後ですね。いろいろなご意見いただいた中で検討して行きたいと考えております。それと、先ほど申し上げましたけど、例えば教育施設検討委員会の中で2つの候補が上がったんですけど、絞られたんですが、その中でこの教育施設検討委員会の中で1つの候補に選定するというようなお話も少しありましたけど、状況としては、1つに絞ることは難しいんじゃないかという中で、2つに絞って、その後いろいろな角度からいろいろな会議においてご意見いただきてきております。そういう中で総合的に勘案した中で、進めて行きたいと思っておりますが、そういう意味でどうしても布施小学校がよろしいんだという方々のお立場については、なかなかご意見が通らないということで、申し訳ございませんということになってしまいますけどね。総合的な勘案の中で、私はより多くの保護者の皆様、より多くの町民の皆様の当然お考えを入れていかなきゃいけませんので、それをしっかりと図りつつですね、対応して行きたいなと考えております。以上です。

(参加者) いろいろな方の意見を聞きながら検討して行くっていうのを結構、今までも何回かお伺いしたんですけど、今回のこの今日の場が説明会になってるんですけど、本当は意見交換会だっという風にお伺いしたんですね。最初聞いてて。手紙が来たら説明会になってい

たということで、私たちの意見、言っても通らないなと思ってこなくなる人が出るのは、この状況は、当たり前なんじゃないかなと思うんですね。意見を聞きますって言われてると本当って思ってしまうところがあって、この日以外で本当の意見交換会っていうのはやるんでしょうか。これから先、今日ここが説明会になってるけど、意見も聞きますよっていう感じで聞いたんですけども、今、私達が意見を言っても検討します、検討しますという感じで響いてないんじゃないかなっていうの思うんですね。もうちょっと現場の方の意見とか聞きながら、進められないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

(町長) ありがとうございます。意見交換会と言いますかね、そしてまた説明会ということですが、議会においてもいろいろとご意見をいただいております、その時に私はどう答えておりますかという、執行部としての考えは持っております。執行部としての考えをゼロに戻して、すべてあの候補地とかをゼロに戻して、皆さんの意見を土台にして決めるんじゃないかと、既にこれまでの過程でだいたい固まっています。そういう中で取り入れるご意見は取り入れさせていただきますよというお答えを議会でも申し上げております。

現時点においてゼロにおいて、さあどうしましょうっていう話はちょっと違うんですね。私はそのように考えております。そういうなかで全く皆様方の意見をお伺いしないということじゃないんですけど、そういう中で可能な限りできることは取り入れて、前に進みたいなと思っております。はい、以上でございます。

(参加者) より良い中学校にしたいと言うお考えがあるのならば、やっぱり現場の方の意見とか、もっといろいろな人の意見を聞いてしかるべきだと思うんですね。元のこういう考えがありますっていうのをおっしゃっていただいたんですけども、それと現場の温度がちょっと合っていないようなところもあると思うんですね。それについてはいかがでしょうか。

(町長) その辺はですね、私も感じておりますけど、具体的にですねこれから、詳細といたしますか、いろいろなことを詰めていく過程にあると思っておりますので、皆様方のご意見を伺いながら、そういうこと、少しでも反映できればなと思っております。

(参加者) すみません。今日初めてのようなので、これ入札にするんですかね。工事とかもう決まってらっしゃるんですよね、中学校だって。私たちはあと7億ですから3億今借金があるわけだから、10億の借金が町にできるってことですね。

それは財政はどうするのか、例えば花火大会が今年中止になったのは200万お金がかかるから花火大会がなくなったっていうのは、別にどこだってやってるんだから、私も花火はいいやと思ったけど、やっぱりお盆で先祖様送った後に花火を見たいとか75発までだったらプライベート花火になるんだから、勝浦は結構ふるさと納税でお金持ちの割には75発を4日間に分けたんですよね。それは警備費を節約するためだっていう気持ちもあるんじゃない

いかなとかそういうなんかもう中学校にありきでやるのに、10億の負債をして、この橋のあそこのかかっている月の沙漠の前の橋もお金がない、花火もお金がない、私は終の棲家で御宿に引っ越してきましたけど、これから先何も楽しみがないような町づくりよりも、子供たちが笑顔で元気してるから、今回7億かかって小学校綺麗にしたけど、よしみみんなで頑張ろうっていうような町にして欲しいと思いますけど。

入札するんだったら、どこの業者にするとか。例えばAプランBプランCプランで出して3階建てなんだけど、ここの施設を使ってでもこちらへんは少し節約できたよね、っていうような状況を知ることができるのかどうか、ちょっと不安なんです。

(町長) いずれにいたしましても厳しい財政状況にありますけど、先ほどのご質問の中で、ちょっとあのご回答が漏れましたけど、今の関連で申し上げますけど、現在御宿町は33億5000万の借金があります。それで例えば、平成18年に中学校建てておりますけど、教育施設を建てる場合ですね、例えば、事例的には自己財源、その年度なら、年度の自己財源は一割弱です。少し変わりますけどね、2割から3割が補助金、あとは借金です。この借金もいろいろありまして、のちに交付税として返ってくる起債もあります。そういう中で、教育施設は当然長い間ですね。多くの町民の皆様、あるいは、子供、児童、生徒の子供たちが活用、必要な施設、重要な施設でありますので、起債が長くなりますけどね。10年とか15年をかけてお返しすることになりますけどね、そういう状況でありますから、厳しいことは厳しい、何をやって厳しいですけど、同時に今おっしゃっていただきました、歳入財源を人口が減少して当然、税金もですね、税の収入も少しずつ減っている状況もありますけど、そういうことも厳しいことになりますので、歳入財源をどういうふうに工夫して作っていくのかということも、検討して研究していけないといけないですけど、いずれにしてもいろいろな面で努力をさせていただいて、今おっしゃっていただきました、子供たちが明るく元気な町で過ごしていただきたいと、将来を過ごしていただきたいという考えで、やっていきますので、よろしくお願いします。

(参加者) 時間もあまりないかもしれないので、3つ聞きたいことがあるので伺います。

1つ目は、検討委員会の中で、御宿小学校の小学校の校長先生が御宿中では明らかに狭すぎるって言っていたことに対して、だけど御宿中であるという町長の考えはどんなものか明らかに狭いって、校長先生が現場の方が言ってるのにやるということ。2つ目はその入り口の浅間様の参道を広げて、広くすることでなんとかなるんじゃないかということなんですが、もともとハザードマップにも載ってる浅間山なので、その土砂崩れがよりひどくなるんじゃないかと思うので心配なので、これは専門家に見てもらって言ってるのかなっていうこととか。春日様とか新町のみんなにも周知してそれでやってるのかな。御宿中って言っちゃって大丈夫なのかなってちょっと私は思っています。3つ目は検討委員会で御宿中か布施小かっていう場所って言ったけれども、たくさんの意見が、この間の年末11月に出た中で、御宿台がいいんじゃないか。その他という意見が割と保護者の中で出ていたんです。御宿台の敷地について、こども園の近くだから送迎しやすい津波の心配もないで、町のトップである町



長さんが西武の社長と交渉すれば定価ではなく、御宿台も小学校ができることで土地の価値も上がることになるので、町長さんは直接西武に交渉したのかなってところが聞きたいです。その3つなのですが、今日こうやって集まってないっていうのは、やっぱり説明会と言っちゃってるからで、あとは、交流会とか、あと子育て世代を思ったら、夏休みにはできないというか、私は子供を連れてきたんですが、学校があるときとか保育園に預けられる時じゃないと親たち来れないです。なので、子育て世代の観点がかけてるんじゃないかなって、やっぱり思いました。実際、この先、子供は減るばかりでとおっしゃっていましたが、一宮の閉校になる小学校はオリンピックの効果もあったからか、3倍の人数になって、子供がいっぱいなので、小学校閉校にならずに済みまし、いすみはオーガニックの給食、この間ここで上映会をした監督の2作目にいすみのオーガニック給食が出てるのですが、それでどんどん子育て世代が移住しています。なので、御宿は子供が少ないっていうビジョンではなく、やれることがあるはずで、例えば御宿台で面白い海山の教育をしているとなれば、話題を呼んで、3倍とか人数が増えるのが、現実的ではないとおっしゃいますが、実際外房でおきてるので、できる工夫は子供達のためにして欲しいし、ここにいる小学生にちゃんと説明できるように努力、ビジョンを、ここにいないもっと小さい子供の為にも、役場だけで無理ならば、ここでやっていた議員さんと若者で語ろうという会では6つのビジョンがでたので、なので、未来が描けるような、今日はそうゆうシンポジウムになっていないので、そうゆうのがあったらいいのにな、やってほしいな、今日は説明会だとすれば、そうゆうシンポジウム、交流会をして欲しいなと思いました。

(町長) ありがとうございます。いくつか質問をもらいましたが、施設検討委員会の中で校長先生がおっしゃられた事につきましては、確かにそういうご指摘があったかと思いますが、結論から申し上げますと、総合的に勘案するという事で、私の立場としましては、少し狭いかもかもしれませんが、例えば、布施小学校に持っていった場合は、事業費も工事費も多くかかる、さらには、教育の重要性である、小中一貫もなかなか実現が遠のくといいますが、描き切れないという事もあるかと思えます。また、遊具等につきましては、現在の遊具の調査、一つ一つの遊具にどれぐらいの面積が必要なのかとかはしっかり精査した中で、対応していきたいと思、しっかりとした施設を作って行きたいと考えております。

次に、参道の関係でございますが、浅間山の頂上については、標高 52.7m ございますので、また、校舎の敷地に関しては 14m、上り口をですね、あるいは国道から入る方、しっかり整備して、また、上り道については、歩きやすいように整備するという事で、崖崩れとかはあまり心配はないと考えております。

3点目につきまして、例えば、御宿台という意見が所々出てきてますが、御宿台のご担当の方とお話しましたが、交渉はしておりません。状況を伺いました。一般の居住地につきましても、だいたい坪5万円～6万円ぐらいという、お話を伺いました。例えばB道路といまして、真ん中を通る大きな道がありますけど、飲食店の反対側の大きな土地がありますけど、あそこは3万平米を超える土地でございますが、用地とした場合は、やはり同じように土地価格は考えていかないといけないのではないかなというようご担当者のご意見は伺

っております。例えば、御宿中学校3万2千㎡あります。あそこに施設を考えた場合、2万5千~3万㎡近くの敷地が必要じゃないかと思っております、新しく施設を持った場合は土地単価で4億~5億、学校施設で布施小学校の場合解体費用がかかるので、やはり学校建設だけで、校舎建設だけで10億かかるのではないかなと考えております。さらには体育館がありませんので、体育館も5億~6億かかります。校内とかグラウンドとか全体整備で4億~5億で考えますと25億はかかります。御宿台に持ってた場合は、これは財政的に見ても、なかなか御宿台には持っていけない。地域で成功事例で情報も少し聞いていますが、詳しい調査はしておりませんが、皆様方のお力をいただいて、ご意見もいただきまして、できるだけ努力はさせていただきたいなと思っております。

(事務局) このあたりで質疑を終了させていただきたいと思いますが、よろしでしょうか。

(参加者) 今の計画ですと、本当の当事者である、子供ですとか保護者の皆さんに対するメリットとかそういうものが感じられない。高台の部分に移動するという安心感があるというだけで、ただ単に行政側の都合を子供と保護者に押し付けているだけの計画のように私は感じます。その中で、町長さんが取り入れられるものはやっていますというお話をされてますが、例えば、中学校に新たに校舎を建てるということであっても、例えば、冒頭に町長さんお話しされた、給食が今、現状勝浦市に委託という形になってますが、新しく作る校舎に調理室を作って、給食を校内で調理して出すとかそういうぐらいのことであれば、町長のおっしゃられる、範囲に入るんでしょうか。お願いします。

(町長) 先程も申し上げましたが、やはり児童生徒の数もだんだんと減ってきておりますので、しかしながら、できる事できない事いろいろありますけど、現在勝浦にお願いしておりますので、この辺については皆様のご意見を伺いながら、検討していきたいと思っております。

(参加者) 検討していけるのではなくて、私が聞いているのは、そういうことは取り入れられるのですか。という範疇にお入りになるかどうかということのを端的にお伺いしたいんですけど。

(町長) そのことについて検討していきたいなと思っております。

(参加者) 私は納得してませんが、ここで聞いてた皆さんがそれで納得されるかどうかというのは、疑問じゃないかなと思っております。

(参加者) 御宿で生まれて85歳です。今日の子供の命を守るために学校を移動するというテーマの話題は多いですね。今日は、通学バスの話とか。私が聞きたいと思っているのは、一つには五倫鬘の後始末をどうなさるのですか。由緒も深き五倫鬘という学校の歌で育っていますから、五倫鬘の後始末はどうなさるかということと、スクールバスに集中して、スク

ールバスをどんどん動かすと町の中から子供の声が聞こえなくなってしまうと思うんですよ。先ほどから布施小学校の話が出てますけど、私の考えでは布施は遠すぎる、小学校のある場所によって町が死ぬと思うんですよ、学校がなくなって遠くに離れると。そういう意味で子供の声という事なんですけど、子供がスクールバスでなければならぬ子もいますが、それだけではなくて、通学の行き帰りが、行きは集団登校でありますから、皆さん並んでいきますけど、帰りのバラバラで帰る楽しさがなくなるのは、子供自身の繋がりが減ると思うのですが。余計な話しますね。毎日1番先に帰ってくる男の子がいるんです、2番目に通る女の子がいるんです。この話は5、6年前の話です。その話を子供に聞きましたら、2番目に来る2年生の女の子が最初に行く3、4年生の男の子が好きだということで、男の子はそれが嫌で走って帰るんだそうです。だから毎日一番先に帰ってくるんです。その子が終わって次に女の子が来るんです。こういう通学の楽しさがスクールバスになっちゃうとなくなってしまうんじゃないかと思っているのですが。スクールバスも使用する所と使用しない所をよく考えて、子供の命を守るのは親だけど、子供たちが自分たちが自分たちで作る子供の集団というものを育てるのも考えなければ、あまり合理的というふうなくいようにしてしまうと、子供が育たなくなってしまうような気がするんです。それと先ほど年寄りに遠慮して、子供がって言いましたけど、子供の声が聞こえるのがどんなに楽しいかわかりますか。声は今全く聞こえない状況ですので、保育園があちらに行くことによって、保育園に行く年齢の方が私の家の近くは少ないのですが、とにかく町中から子供の声が聞こえなくならないようお願いしたいと思っております。

(町長) ありがとうございます。2つ質問をいただきましたが、まず五倫鬘、五倫文庫の関係ですが、御宿町と教育に関わる非常に大事な財産ですから、しっかりとご関係の皆様と協議をしまして、1つの案を立てていきたいと思っております。教育委員会の皆様方、実際の話、伊藤家から伊藤鬼一郎先生を初め、代々五倫文庫を中心に伝わってきておりますので、しっかり協議しまして、ぜひ御宿における大きな教育財産を守っていくという考え方に基づいて、対応していきたいと考えております。

スクールバスについては、御宿中学校に更新施設を持っていった場合は、現時点ではスクールバスの対象としては、上布施、実谷、七本、高山田と御宿台、その他の地区はまた今後、状況の中で、少しは変化していくかわかりませんが、その他の地区は現在の登下校のような形をお願いしたいと思っております。

(参加者) 私が言ってる、バスの事なのですが、平坦地の市街で通学路が平坦地で、3キロ以内って言ったら仕方がないですよ。私が言ってるのは、本当、特殊な御宿台なのです。御宿台の坂を上がったり下がったり高齢者になると大変なんですけど、子供でも2、3人15時~16時頃になると歩いて帰ってる子がいるんです。会話をしながら楽しそうに歩いてるけど、体力的な負担もあると思います。特殊地域だから、通学バスをお願いしたいと言っている。平坦地のところの子供さんは信号だけを守って、安全に通学していてももらえばいいと思います。でも、口には出さなくても、子供にはすごく負担になっていると思います。朝

来的时候は、みんなと一緒に来るし、下りですからいいと思うけど、帰る時はね、坂を上がっていくっていうのは、子供も大変だと思います。それを考慮して欲しいと、私は思っております。

(町長) 御宿台の子供さんの話なのですが、ご指摘いただいたのは、現在御宿小学校に通っている子供さんの対応ですよ。

(参加者) 現在の中学生がどのような形で登校しているか、私はわからないのですが、小学生を見てきて、自転車通学をする子もいますけど、今度、自転車で上がっていく事も大変なんです。小学生の事しか考えずに発言してました。でも、考えてみたら中学生も父兄の方が自家用車で対応したりしてるかどうかっていうことなんですけど。

(町長) 現在において、中学生はスクールバスの対象にはなっておりません。皆さん歩きとか自転車で登校となっております。現在においては、御宿小学校に通う、御宿台から通う皆さんも、スクールバスの対象にはなっておりません。ただ、御宿中学校に更新施設を建てた場合は、御宿台の皆様方はスクールバスの対象になります。

(事務局) 皆様、本日は沢山のご意見、ご質問等いただきまして、誠にありがとうございました。また、本日、都合が合わず、説明会に参加できなかった方々もたくさんいらっしゃいましたが、本日の説明会の内容につきましては、後日 HP 等を通して、皆様にお知らせの機会を設けさせていただきたいと思っております。また、この他にご質問等がございましたら、町教育委員会までご連絡をいただければと思います。

それでは、長時間に渡りまして、お疲れ様でした。

以上もちまして、御宿小学校更新に係る説明会を終了いたします。

本日はありがとうございました。